



「WRO」世界3位の実績を生かし、2020年度の必修化を先導 小学校でロボットプログラミング授業開催

追手門学院小学校（大阪府中央区、校長：東田充司）は、2020年度に必修化されるプログラミング教育を先取りし、12月12・13日の2日間、併設校で国際的なロボットコンテストに4年連続で出場している追手門学院大手前中・高等学校と連携して、5年生向けのロボットプログラミングの授業を実施します。

ロボットプログラミングの授業は5年生の理科の中で行われ、146人の児童対象です。指導は、併設校の追手門学院大手前中・高等学校の福田哲也教頭が担当します。福田教頭は追手門学院

大手前中・高等学校のロボットサイエンス部の顧問で、国際的なロボットコンテスト「WRO」の世界大会に4年連続で出場し、本年11月には中学生チームを世界第3位へと導きました。

当日はあらかじめ組み立てられた自律型ロボットに、児童が三人一組で動きをプログラミング。火星までロボットを動かし、火星を探するという宇宙開発をテーマにした平面のコースを設け、途中、いくつかの仕掛けをクリアしながらゴールを目指します。

ロボットプログラミングは、2020年度の新学習指導要領において必修化されるプログラミング教育を具体的に先導する取り組みとして注目されており、福田教頭の手ほどきのもと、初めてのロボットプログラミングに熱中する児童の様子をぜひ取材ください。



世界3位のチームと（右端が福田教頭）
2017年11月コスタリカでのWRO世界大会

【ポイント】

- 2020年度の新学習指導要領において必修化されるプログラミング教育を先導する取り組み
- 国際的なロボットコンテスト「WRO」世界3位のロボットサイエンス部顧問の、追手門学院大手前中・高福田教頭による学院連携での実施

【概要】追手門学院小学校5年生 ロボットプログラミング授業

日時：2017年12月12・13日の2日間 いずれも9:05～12:15

会場：追手門学院小学校（大阪府中央区大手前1-3-20 地下鉄・京阪天満橋駅から徒歩約7分）

対象：追手門学院小学校5年生 146人

指導：追手門学院大手前中・高等学校 教頭・ロボットサイエンス部顧問 福田哲也

※セキュリティの都合上、取材を希望される場合は事前に広報課まで連絡ください

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立